

平成23年度 第2回日本粘土学会評議員会議事録

日 時：平成23年 1月22日(土) 15:00～17:00

場 所：早稲田大学西早稲田(理工) キャンパス55号館
N棟1階 第二会議室

出席者：(順不同、敬称略)

会 長：井上

出席評議員：

山田、八田、會澤、上原(元)、蛭名、太田、岡田、川俣、篠原、鈴木(正)、鈴木(憲)、田村、宮脇、山崎、横山、地下(記)

委任状提出評議員：10名

評議員総数26名、うち本人出席16名、委任状提出10名、計26名であり、評議員現在数の半数に相当する定足数13名を満たし、第2回評議員会は成立した。

常務委員出席者：上原(誠)、河野、佐藤(努)、日比野
事務局：土信田

1. 報告事項

- (1) 粘土科学の発行・編集状況(篠原)：第49巻2号の発行報告ならびに49巻3号は2011年3月末、第50巻1号は2011年8月発行予定であることが報告された。原稿の協力要請があった。
- (2) Clay Scienceの発行・編集状況(會澤(代理)・上原・地下)：Vol.14 No.4 (2010年6月)、Vol.14 No.4 (2010年9月)、Vol.14 No.4 (2010年12月)の発行報告ならびに2011年3月発行予定の特集号についての編集状況を含め、今後の発行予定について報告があった。また編集委員として海外から4～5名選出予定であることが報告された。加えて、井上会長より特別号に関する最終受理は編集委員長が出すという形で処理し、順次印刷作業を行う事が報告された。
- (3) 会計 中間報告(土信田)：中間収支状況が報告された。
- (4) 行事(土信田)：Asian Clayの決算を含めた50周年基金の中間収支報告があった。今年度支出が終了した後、50周年基金および振興基金は一括にすることが報告された。
- (5) 国際協力(佐藤)：今後のAsian Clayの開催に関して、各国の代表が選出され、連絡組織が結成されている旨が報告された(別紙)。また、第2回Asian Clayの開催に関して韓国が引き受けてくれており、内容を検討中であるとの報告があった。
- (6) 企画
 - ①標準粘土(宮脇)：これまで15件の依頼があったこと、ならびに標準粘土の分析資料の学会HP上での公開に関する検討事項の報告があった。また、新たな標準粘土としてセピオライト・バリゴルスカイトの提供を検討中である旨が報告された。
 - ②ホームページ(岡田)：2010年10月より学会HPの英語バージョンが大幅に更新され、公開されている

ことが報告された。

- (7) 庶務 会員動向(山崎)：会員の動向に関して報告があった。
- (8) 連合等(山崎)：日本地球惑星科学連合、日本学会議学術誌問題検討分科会、J-STAGE フェア2010に関して、報告があった。第3回学術会長会議の報告として科研費のキーワード改訂の検討について、日本学会議会員および連携会員の候補者に関する情報提供について、理学・工学分野の科学・夢ロードマップについて、それぞれ説明がなされた。JSTの登録の停止および地球惑星オリンピックの開催に関しても報告があった。
- (9) 事務局(土信田)：協賛3件について報告があった(別紙)。
- (10) その他
 - ①第54回粘土科学討論会優秀講演賞について(井上)：第54回粘土科学討論会優秀講演賞に関して報告があった(別紙)。既に粘土科学に掲載済みである。
 - ②JST 電子アーカイブ化の進捗状況(土信田)：契約終了および開始の報告がなされた。
 - ③会誌の印刷所の選定について(八田)：印刷所の選定について、数社の見積の結果が報告された。

2. 審議事項

- (1) 第55回粘土科学討論会について：河野委員より第55回粘土科学討論会についての日程案等が説明された。特に次回からの変更点として発表申込方法・見学会に関して次のように説明があった。
 - ・発表申込は、J-STAGE 使用以前行われていた形と同様電子メールおよび申込用紙の郵送により行う。
 - ・発表申込時の講演概要については、討論会終了後に粘土科学に掲載する。掲載する旨を「第55回粘土科学討論会のお知らせ」に明記する。
 - ・見学会の申し込みに関して、申込の受付開始(6月13日(月))と終了日(6月24日(金))を「第55回粘土科学討論会のお知らせ」に明記し、先着順20名とする。
- (2) プログラムについて：鈴木プログラム委員長より第55回粘土科学討論会のプログラムに関して説明があった。先の討論会開催内容と合わせて審議され、以下の点が決定した。
 - ・井上会長の意見を受け、見学会に関して同業者の参加についての再確認が必要。
 - ・蛭名委員の意見を受け、「第55回粘土科学討論会のお知らせ」の一般講演の項目にポスター発表のみでも申込が可能である旨を追記する。
 - ・提案型セッションの申込締切りを一週間程度早め、概要の締切りをその次の週とする。また、担当委員は提案型セッションの説明をわかりやすい形に書き換える。
 - ・講演分野に関して変更の必要があれば、早急に河野

委員に連絡する。

- (3) 第55回粘土科学討論会の際のシンポジウムに関して、開催案が田村委員より説明があり、シンポジウム講演者の推薦依頼があった。また、以下の点が審議され、承認された。

- ・シンポジウムの会員外の方への講師依頼に関して、交通費支給なし・参加費無料・懇親会費無料招待・要旨の提出・シンポジウム寄稿を依頼条件とすることとなった。尚、会員の方には交通費支給なし・参加費および懇親会費有料・要旨の提出・シンポジウム寄稿が依頼条件となった。
- ・佐藤（努）委員の一般講演の招待講演者の依頼条件についての意見を受け、記念品の贈呈はないが、シンポジウムの講演者と同様の依頼条件とすることとなった。

- (4) 第2回 Asian Clay について：八田常務委員長より第2回 Asian Clay と第56回粘土科学討論会の開催に関しての説明がなされた。両会の開催形態・運用について審議された。総会の開催・参加者数・日本セッションの必要性などの意見があり、結果として、東京で開催した ICC のときと同じく International 形式で第2回 Asian Clay 開催国の韓国に佐藤委員から要望することとなった。また、継続して今後も検討することとなった。

- (5) 日本学術会議会員及び連携会員の候補者の情報提供について：井上会長より候補者の推薦について説明がなされ、本学会として中沢弘基会員を推薦することとなった。また宮脇委員の他団体との連携の必要性に関する意見を受け、推薦にあたり他団体との連携を今後検討していくこととなった。

- (6) その他

- ①標準粘土のデータ資料の学会 HP 上への掲載：宮脇委員より標準粘土のデータ資料（pdf ファイル）の著作権と HP の掲載について説明がなされ、審議の結果以下のとおりとなった。

- ・データ資料の学会 HP の掲載に関しては、学会が承認の上、掲載を認める。
- ・データ資料（pdf）については、総会での承認が必要であり、再度検討することとする。

- ②会誌の印刷所の選定について（八田）：印刷所の選定について、数社の見積りの結果が報告され、印刷所の選定については編集委員会で討議の上、改めて審議することとなった。

以上